

## 一人ひとりのかかわりが、大きな力に！

松山市社会福祉協議会 地域福祉課 主幹

白方 雅博

### 「まちづくりバウムクーヘン」をつくろう！

—今風「相互扶助システム」の構築

子育てを時間給にすると、大きな費用がかかります。介護もそうです。これまで肉親や近隣社会が担ってきた役割が、次々と専門家の手に委ねられています。社会的な分業は効率化であり、雇用も生み出すのだから否定すべきことではないでしょう。

しかし、これも程度の問題だと思います。「専門処理システム」と「相互扶助システム」のバランスが大きく崩れたとき、この社会は一体どうなってしまうのだらうと思います。家族や家族のようなつながりを核とする地域の助け合いが充実すれば、専門家によるサービスも磨かれ、より豊かになってくるのではないのでしょうか。これからの地域づくりやまちづくりは、この二つのシステムを対比させながら社会的な競争や協働のあり方を考えること、また、この二つのシステムの最適な結合を観点として進めていくことがますます求められてくるのではないかと思うのです。

「まちづくりバウムクーヘン」は、今風「相互扶助システム」づくりに思いを馳せながら作成した様式です。同心円状の図に分野別と人材、団体・拠点、仕組・催し等の項目を入れ、地域の社会資源を円内に整理できるようになっています。これを道具として地域の再確認、再発見を試みるのです。まずは自分の地域を“診(み)る”ということです。

この様な試みを、出発点として「愛着づくり」「仲間づくり」「動きづくり」、そして「まちづくり」へと一つでも多くの実践が生まれるよう願っています。



昭和31年7月27日  
松山市生まれ  
地元の大学を卒業して  
市社協に入社。

地域福祉指導員養成課程へ参加し、面接授業で日本社会事業大学の橋謙策先生に出会う。以来、一生社協のお世話になるぞと決意。社協では32地区毎に進める地域福祉活動計画の策定準備に忙しい。